

業績／主要な経営指標等の推移

Jimoto Holdings

経済環境

2022年9月期のわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあり、緩やかに景気が持ち直していくことが期待されています。一方、世界的な金融引き締め等が続き、海外景気の下振れが日本の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの営業エリアである宮城県経済及び山形県経済につきましても、ウィズコロナへの移行に伴い、個人消費等に緩やかな持ち直しの動きが見られますが、企業活動等におきましては、引き続き厳しい状況が続いております。

じもとホールディングス

業績

このような環境のもと、経営理念である「宮城と山形をつなぎ、本業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」のもと、中期経営計画の主要テーマである「本業支援の深化」、「業務変革(DX)」、「経営管理」について、資本業務提携先であるSBIグループとの連携を積極的に活用して取り組んでまいりました。本計画を通じて、中小企業の業況改善と地域発展に貢献し、そのことが当社グループの収益改善にもつながる「共通価値の創造」の実現を目指しております。

2022年9月期における当社グループの経常収益は、有価証券

利息配当金の減少等により資金運用収益が減少したことなどから、前年同期比9億94百万円減少の188億17百万円となりました。経常費用は、きらやか銀行における特定の大口与信先の業績不振により、当該先に関連する引当金を計上したことなどから、前年同期比26億70百万円増加の200億87百万円となりました。その結果、経常損益は、前年同期比36億65百万円減少し12億69百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する中間純損益は、きらやか銀行における店舗再編に伴う減損損失、法人税等調整額の見直しもあり、前年同期比56億73百万円減少し40億68百万円の損失となりました。

主要な経営指標等の推移（連結）

(単位：百万円)

決算年月	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2021年3月期	2022年3月期
連結経常収益	21,329	19,812	18,817	44,089	40,207
連結経常利益（△は連結経常損失）	1,419	2,395	△1,269	△2,275	4,486
親会社株主に帰属する中間純利益 （△は親会社株主に帰属する中間純損失）	64	1,604	△4,068	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益 （△は親会社株主に帰属する当期純損失）	—	—	—	△3,176	2,585
連結中間包括利益	2,141	108	△18,984	—	—
連結包括利益	—	—	—	2,518	△14,758
連結純資産額	112,896	116,111	81,570	116,425	100,898
連結総資産額	2,666,885	2,713,862	2,693,633	2,663,931	2,698,662
1株当たり純資産額	2,952.81 円	2,598.16 円	988.26 円	2,612.98 円	1,889.22 円
1株当たり中間純利益（△は1株当たり中間純損失）	△3.67 円	68.67 円	△195.80 円	— 円	— 円
1株当たり当期純利益（△は1株当たり当期純損失）	— 円	— 円	— 円	△192.53 円	108.29 円
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	— 円	15.96 円	— 円	— 円	— 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	— 円	— 円	— 円	— 円	25.29 円
自己資本比率	4.22 %	4.27 %	3.01 %	4.36 %	3.73 %
連結自己資本比率（国内基準）	8.29 %	8.13 %	8.09 %	8.12 %	8.15 %
営業活動によるキャッシュ・フロー	93,189	49,178	23,949	96,884	28,964
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,702	△14,095	10,373	△84,955	△7,983
財務活動によるキャッシュ・フロー	△439	△350	△350	2,689	△698
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	271,447	236,749	256,272	202,017	222,299
従業員数 （外、平均臨時従業員数）	1,728 人 (462 人)	1,652 人 (413 人)	1,561 人 (372 人)	1,689 人 (453 人)	1,610 人 (406 人)

- (注) 1. 2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
 2. 「1株当たり純資産額」の算定上、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を（中間）期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。また、「1株当たり（中間）当期純利益（△は1株当たり（中間）当期純損失）」及び「潜在株式調整後1株当たり（中間）当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
 3. 2020年9月期及び2021年3月期の潜在株式調整後1株当たり（中間）当期純利益については、1株当たり（中間）当期純損失が計上されているので、記載しておりません。
 4. 2022年9月期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失が計上されているので、記載しておりません。
 5. 自己資本比率は、（（中間）期末純資産の部合計－（中間）期末非支配株主持分）を（中間）期末資産の部の合計で除して算出しております。